

学校がきれいになりました

～ 愛校作業 御参加ありがとうございました ～



21日(日)に1回目の愛校作業が行われました。休みの日にもかかわらず、向高、竹田、森永B地区の保護者、子どもたちが参加してくれました。保護者53名、児童46名、職員12名、計111名でした。

運動場周辺の除草作業、水泳学習に備えてのプール関係の掃除が中心でしたが、森っ子坂周辺の草刈りや、樹木への薬剤散布等もして頂きました。子どもたちが気持ちよく、安全に学校生活を送ることができます。ありがとうございました。特にPTAの環境・保体委員の皆さんには計画、準備、片付けまで大変お世話になりました。

第2回目は、8月27日(日)、須志田、飯盛、森永A地区、今回不参加のご家庭です。よろしくお願いします。



稚魚放流～

5/9、4年生が森永橋下流で国富町漁協の方の指導の下、稚魚放流体験を行いました。子どもたちは冷たい川につかりながらたくさんの稚魚を放流しました。本庄川があゆやうなぎがいっぱいになるといいですね。

豊かな自然体験ができる国富は恵まれています。



不審者侵入想定訓練

10日に、不審者が侵入したことを想定した訓練を行いました。高岡警察署の方に不審者役をしていただき、南校舎の2階に侵入したという想定での訓練でした。児童には予告をしていなかったもので、びっくりした児童もいたようです。慌てず、先生の指示をしっかりと守ってすばやく行動することが大切であるということを学びました。



ほうきをいただきました

田尻にお住まいの吉富克芳さんから、ほうきを20本頂きました。町内すべての小中学校へ寄贈されたようです。大変ありがたいです。



6月 主な行事予定

1日(木)	小中合同あいさつ運動 全校朝会
4日(日)	PTAミニバレー大会
5日(月)	プール開き(高学年)
6日(火)	プール開き(中学年)
7日(水)	風水害想定引渡し避難訓練 プール開き(低学年)
8日(木)	代掻き、肥料散布見学(5年)
14日(水)	ALT訪問(5・6年) 土砂災害防止教室(5・6年)
15日(木)	学校保健委員会 田植え体験学習(5年)
20日(火)	非行防止教室(3～6年)
22日(水)	ALT訪問(3～6年)
23日(木)	参観日、給食試食会
27日(火)	運動器検診(5年)
29日(木)	登校班長会
30日(金)	ALT訪問(5・6年)

空き缶リサイクルへの協力

～いつもありがとうございます～

アルミ缶リサイクル活動への取り組みを行っていますが、たくさんのご家庭や地域の方々へご協力いただいております。ありがとうございます。集まったアルミ缶は、定期的に業者へ連絡し、回収してもらっていますが、そこから得られた益金で子どもたちの教材等を購入しています。

昨年度は、約24,000円の収益が出て、ソフトフォームボールを10個購入することができました。大変柔らかい素材でできているボールですので、子どもたちも安心してボール投げやキャッチができるようです。

今年度もご協力をよろしくお願いします。



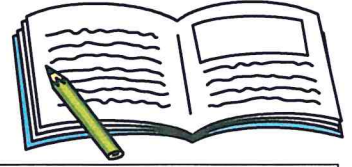
学校評議員の皆様です

学校評議員は、学校の教育活動について保護者や地域住民の皆さんからの意見を頂くことで、特色ある学校づくりに資することを目的に実施されるものです。年間、2回の定例会と、必要に応じた意見交換会を実施します。本年度の学校評議員の皆様です。よろしくお願いします。

向高区長	落合 宗詔様
読み聞かせボランティア	日高 国博様
読み聞かせボランティア	林 郁代様
本校PTA会長	黒木 誠二様
本校前PTA会長	岩切 孝幸様

4年生の学習の様子を紹介します

稚魚放流の感想文、発電所見学の新聞記事を紹介します



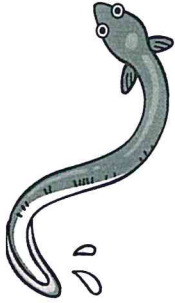
アユの放流

上井 銀二

5月9日の火曜日は、アユの放流がありました。アユの放流だけど、うなぎも放流しました。子どもの小さなアユとうなぎでした。アユは放流したら、すぐににげたけど、うなぎは石の下にかくれていました。

ぼくは、なぜアユはすぐにげて、うなぎは石の下にかくれたかを考えました。ぼくは、ひらめきました。

アユは身を守るものがないからすぐにげたんだと思います。うなぎは石の下にかくれて見つかったも、身を守るぬるぬるがあるから石の下にかくれるんだと思います。そうぼくは考えました。とてもいい見学になりました。



アユの放流体験

岩切 未来

5月9日の火曜日、あゆの放流体験に行きました。ぼくは、おじいちゃんがつってくる大人のあゆしか見たことがないので「子どものあゆってどれくらい小さいのかなあ」と思っていました。初めて子どものあゆを見た時は「こんなに小さいんだともかわいいなあ」と思いました。放流する時、バケツの中で動きまわっていました。放流しようとするバケツの中から跳んで川にとびこむほど元気でした。

うなぎも放流しました。うなぎは手でつかまえて川へ放流しようとする、体がぬるぬるしていてなかなかつかめずバケツから出せませんでした。そしてうなぎはすぐ遠くへ行かず、石の下やすきまなどにかくれていました。とても勉強になりました。

2017年(平成29年)5月20日 土曜日

宮崎日日新聞

水の力「すごい」

森永小児童が発電所見学

綾



発電機を動かすスイッチがある配電盤室を見学する森永小の児童たち

県企業局は18日、綾町綾北川沿いの綾第2発電所に森永小(菊池光一校長、125人)の児童を招いて見学ツアーを開いた。3、4年生46人が参加し、水力発電の仕組みやダム的重要性について学んだ。同局職員が、普段は無人で遠隔操作で発電所を管理していることや、発電機を回すために1秒間に約13リットルの水を使うことなどを説明。児童たちは「すごい」と驚きの声を上げていた。配電

盤室では児童が発電機を動かすスイッチを入れ、パネルに表示される数値が変わる様子も確認した。4年の川端優々華さん(8)は「たくさん水で電気ができることを初めて知った。飲む以外にも水は大切。水も電気も大事に使いたい」と話していた。同発電所の最大出力は2万8千キロワットで、同局が持つ県内14カ所の水力発電所で最大。昨年度は約1億2500万キロワット時を供給している。